

2026年2月期第2四半期（中間期）

決算説明資料

2025年10月10日



近鉄百貨店

1. 連結業績 (P 2 ～ 3)
2. セグメント別の業績 (P 4)
3. 中間連結貸借対照表 (P 5)
4. 2 0 2 5 年度通期業績予想 (P 6)
5. その他 (P 7 ～ 9)

1. 連結業績

◆百貨店が牽引し、増収増益

(単位:百万円、%)

	2025年2月期 中間期	2026年2月期 中間期	増減額	増減率	増減要因	9/26公表値 との増減額	増減率
売上高	55,785	62,546	6,761	12.1	近百+5,703、シ17ル+882 近創+450	46	0.1
営業利益	1,983	2,620	637	32.2	近百+646、近創+63	20	0.8
営業外収益	645	667	22	3.4			
営業外費用	808	658	△149	△18.5			
経常利益	1,820	2,630	809	44.5		30	1.2
特別利益	—	4,531	4,531	—	名古屋店閉店に伴う受取補償金		
特別損失	130	2,198	2,068	—	(前年) 固定資産除却損等130 (本年) 名古屋店舗閉鎖損失1,990、 固定資産除却損等207		
中間純利益	1,423	3,580	2,156	151.5		80	2.3

1. 連結業績

販管費の内訳

(単位:百万円、%)

	2026年2月期 中間期	対前年 増減額	対前年 増減率
人件費	8,832	42	0.5
物件費	2,597	177	7.3
宣伝費	469	34	7.8
諸費	7,938	2,580	48.2
賃借料	5,836	17	0.3
減価償却費	2,417	△7	△0.3
諸税	646	64	11.0
販管費計	28,737	2,909	11.3

◆販管費計は万博関連費用の増加により対前年11.3%増。

2. セグメント別の業績

- ◆百貨店業では、大阪・関西万博効果により増収増益
- ◆卸・小売業ではシュテルン近鉄が、新車中古車とも販売好調により増収
- ◆内装業では、近創がホテル工事の受注が好調に推移したことにより増収増益

(単位: 百万円)

	百貨店業	卸・ 小売業	内装業	不動産業	その他 事業	計	調整額	中間連結 損益計算書 計上額
売上高								
外部顧客への売上高	51,348	7,902	1,915	160	1,220	62,546	—	62,546
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	22	307	1,187	25	734	2,277	△2,277	—
計	51,370	8,209	3,103	185	1,954	64,823	△2,277	62,546
セグメント利益	2,177	116	316	113	38	2,762	△141	2,620

3. 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2025年2月期	2026年2月期 中間期	増減額	増減要因
流動資産	27,883	37,994	10,110	預金、売上債権や未収入金の増
固定資産	86,504	85,731	△773	減価償却などによる減
資産合計	114,388	123,726	9,337	
流動負債	71,890	76,337	4,446	仕入債務や預り金の増 借入金返済による減
固定負債	3,921	4,061	139	
負債合計	75,812	80,398	4,586	
純資産合計	38,576	43,327	4,750	
うち利益剰余金	15,072	17,873	2,800	親会社株主に帰属する中間純利益による増
うち自己株式	△2,975	△1,498	1,476	株式需給緩衝信託®による自己株式の処分
うちその他の包括利益累計額	2,461	3,010	548	
負債・純資産合計	114,388	123,726	9,337	
有利子負債残高	4,623	2,558	△2,065	

4. 2025年度通期業績予想

2026年2月期業績予想（連結）

（単位：百万円、％）

	2025年2月期	2026年2月期	増減額	増減率
売上高	115,107	121,000	5,892	5.1
営業利益	5,353	5,400	46	0.9
経常利益	5,148	5,200	51	1.0
純利益	3,484	3,500	15	0.4

2026年2月期業績予想（個別）

（単位：百万円、％）

	2025年2月期	2026年2月期	増減額	増減率
売上高	94,630	101,000	6,369	6.7
営業利益	4,206	4,400	193	4.6
経常利益	3,995	4,200	204	5.1
純利益	3,103	3,100	△3	△0.1

I. 個別業績

◆前年好調だった免税売上の反動減があったものの、大阪・関西万博効果により増収増益

(単位: 百万円、%)

	2026年2月期 中間期	対前年 増減額	対前年 増減率	増減要因	9/26公表 値との増 減額	増減率
売上高 (収益認識基準適用前)	52,129 (118,630)	5,703 (1,673)	12.3 (1.4)		29	0.1
営業利益	2,361	646	37.7		61	2.7
営業外収益	1,093	△6	△0.6			
営業外費用	955	△120	△11.2			
経常利益	2,499	760	43.8		△1	△0.0
特別利益	4,531	4,531	—	名古屋店閉店に伴う受取補償金		
特別損失	2,229	2,079	—	名古屋店舗閉鎖損失+1,993、 固定資産除却損等+86		
中間純利益	3,516	2,078	144.5		16	0.5

Ⅱ. 店別売上高（2026年2月期中間期決算）

（単位：百万円、％）

	本年	対前年 増減額	対前年 増減率
あべのハルカス（Hoop等を含む）	31,351	5,868	23.0
上本町店	3,696	△59	△1.6
東大阪店	612	23	4.0
奈良店	3,782	△187	△4.7
橿原店	2,059	△65	△3.1
生駒店	1,310	72	5.8
和歌山店	2,997	△43	△1.4
草津店	2,125	32	1.5
四日市店	3,273	78	2.5
名古屋店	920	△15	△1.7
合計	52,129	5,703	12.3
（注）あべのハルカス近鉄本店	18,057	△1,504	△7.7

Ⅲ. 商品別売上高（2026年2月期中間期決算）

（単位：百万円、％）

	本年	対前年 増減額	対前年 増減率
紳士服	971	△95	△9.0
婦人服	3,524	△239	△6.4
子供服	475	△6	△1.3
その他衣料品	2,095	△6	△0.3
身回品	3,041	△540	△15.1
家具	200	△7	△3.8
その他家庭用品	767	182	31.1
食料品	16,962	2,734	19.2
食堂喫茶	628	△101	△13.9
雑貨	10,548	4,062	62.6
化粧品	6,790	△483	△6.6
サービス	688	30	4.7
その他	5,435	175	3.3
合計	52,129	5,703	12.3